

会計室決算の概要

1 決算総括

会計事務は、行政運営における基礎的な業務であり、正確・適正に執行されなければならない。その観点から、公金の適正な支払・収納はもとより、市全体の会計事務の向上、公金の安全確実かつ有利な管理運用、物品会計事務の効率的な推進等に取り組んだ。また、指定金融機関について、令和3年度からの次期指定に向け、選定委員会を設置して公募・選定を行った。

令和元年度決算においては、歳入では古紙及び自動車の売却額が当初見込みを下回ったこと等から収入減となり、歳出では物品センターブロック塀改修工事の実施範囲の縮小、その他経費節減に努めたこと等により不用額が生じた。

今後も、各所属との連携・周知・指導等による会計事務の適正な遂行とともに、引き続き経費の節減に努めていく。

2 重点取組の実績

(1) 支出審査・支払・収納、物品会計事務等の厳正かつ効率的・効果的な執行

取組名	実 績
厳正かつ効率的な事務の執行	・支出審査を適正に行うとともに、その一部を総務事務センターに委任する等の効率化を図り、早期支払を推進
市全体の会計事務の向上に向けた取組	・実地検査、公金収納受託者の検査、指定金融機関等の検査などの会計検査を実施 ・財務会計研修を実施 ・会計事務の手引の改訂・充実等 ・内部統制制度の導入準備（会計事務関係）
公金の適正な管理運用	・公金管理運用会議の開催等により、公金の安全かつ有利な管理運用を実施
物品会計事務の効率的な推進と物品の有効活用	・未利用物品（保有郵便切手等）の適正化に向けた取組及び指導 ・備品等の有効活用の促進に向けた庁内周知（リユース物品情報の発信）及び指導

(2) 指定金融機関制度の効果的な運用等

取組名	実 績
指定金融機関の選定	・令和3年度からの次期指定に向け、指定金融機関選定委員会を設置し、公募型プロポーザルにより選定を実施
まちづくりに資する取組の推進	・指定金融機関及び関係部局との連携並びに実施状況の確認により着実に推進

(単位:千円)

3 会計室所管の決算額

(1)一般会計

ア 歳入

款	予算現額 A	収入済額 B	翌年度繰越額 C	差引 A-B-C
財 産 収 入	30,176	20,350	-	9,826
諸 収 入	3,524	4,032	-	△ 508
計	33,700	24,382	-	9,318

イ 歳出

款項	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
総 務 費	49,400	27,389	-	22,011
総務管理費	23,250	18,698	-	4,552
総務施設整備費	26,150	8,691	-	17,459

4 会計室主要施策の概要

〔当初予算額の下段の括弧書きは、補正予算額、前年度繰越額、流用・移用等の予算の増減額、不用額の下段の括弧書きは、翌年度繰越額で、いずれも外数です。〕

項 目	主 要 施 策 の 概 要	当初予算額(A) (増減額(B))	予算現額 (C=A+B)	決算額(D)	不用額 (F=C-D-E) (翌年度繰越額(E))
		千円	千円	千円	千円
	一般会計合計	49,400	49,400	27,389	22,011
(1 公金取扱手数料)		6,500	6,500	5,634	866
公金取扱手数料	公金収納事務（郵便振替受払手数料など）	6,500	6,500	5,634	866
(2 会計事務)		16,750	16,750	13,064	3,686
会 計 事 務	金銭・物品会計事務、指定金融機関指定・公金取扱関係事務	16,750	16,750	13,064	3,686
(3 建物管理)		26,150	26,150	8,691	17,459
建 物 管 理	物品センターブロック塀改修工事<新規>	26,150	26,150	8,691	17,459